

浄化槽設置補助

浄化槽設置補助の事前受付を開始します！

生活雑排水による水質汚濁を防止するため、平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月19日）に浄化槽を設置する人に対して、費用の一部を助成する補助制度があります。希望者は、次のとおり事前申し込みを行ってください。

【事前申込期限】

平成22年9月1日（水）～平成23年3月18日（金）
（受付時間：土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時15分）

【申込方法】

転換、新築などの具体的な計画内容（場所、時期、延床面積など）がわかる資料および印鑑を本庁下水道課、または長浜、肱川、河辺各支所の市民福祉課までご持参ください。

【補助制度を受けられない地域】

- ・公共下水道が整備されている肱南地区の一部
- ・公共下水道が整備、若しくは計画されている肱北地区の一部
- ・農業集落排水が整備されている八多喜地区の一部

【申し込み・問い合わせ先】

下水道課 ☎24-1720（直通）
長浜支所市民福祉課 ☎52-1113（直通）
肱川支所市民福祉課 ☎34-2331（直通）
河辺支所市民福祉課 ☎39-2113（直通）

【浄化槽規模別の補助限度額】

補助対象となる浄化槽規模		【補助限度額】	
		〈転換〉 …単独処理浄化槽または汲み取り便槽から浄化槽にする場合。	〈新築〉 …既存建物を取り壊した後、新築する場合を含む。
5人槽	延床面積が160㎡以下のもの	288,000円	222,000円
7人槽	延床面積が160㎡をこえるもの	360,000円	277,000円
10人槽	2世帯住宅（浴室および台所が2つあり、独立して生活）	476,000円	367,000円

※既存施設が単独処理浄化槽で、増築などにより人槽が増となる場合は、新築扱いとなります。
※記載している補助限度額は現在の予定額であり、確定しているものではありません。

新築・取り壊し家屋の調査について

固定資産税の課税をするうえで、公正かつ適正な評価を図るため、平成22年中に新築または増築・改築および取り壊された家屋（倉庫・車庫を含む）について、次のとおり実地調査を行いますので、ご協力をお願いします。

●調査期間

平成22年9月中旬～平成23年1月下旬

●対象となる家屋

平成22年1月2日以降に新築・増築された家屋および取り壊された家屋

次に該当する場合は、引き続き課税される可能性がありますので、お早めにご連絡ください。

- 1 登記されている家屋を取り壊した後、法務局で「滅失登記」をされていない場合
- 2 登記されていない家屋を取り壊した後、市に「家屋異動届」を提出されていない場合

また、新築・増築された家屋について、早めの調査を希望する人はご連絡ください。

【問い合わせ・連絡先】

税務課固定資産税係 ☎24-2111（内線126～128）
長浜支所総務課 ☎52-1111（内線15・16）
肱川支所総務課 ☎34-2311（内線212）
河辺支所総務課 ☎39-2111（内線114）



2010 国勢調査



あなたの調査票には 日本の大切な未来が つまっています。

国勢調査は みんなで描く 日本の自画像 (平成22年国勢調査標語)

●国勢調査とは

国勢調査は、統計法に基づき、日本に住んでいるすべての人・世帯を対象に実施する、国の最も基本的で重要な統計調査です。大正9年(1920年)の第1回調査以来、5年ごとに行われており、平成22年国勢調査は19回目に当たります。

国勢調査の結果は、国や地方公共団体で行う行政の基礎資料として利用されるほか、学術、教育、企業などの幅広い分野で利用されています。

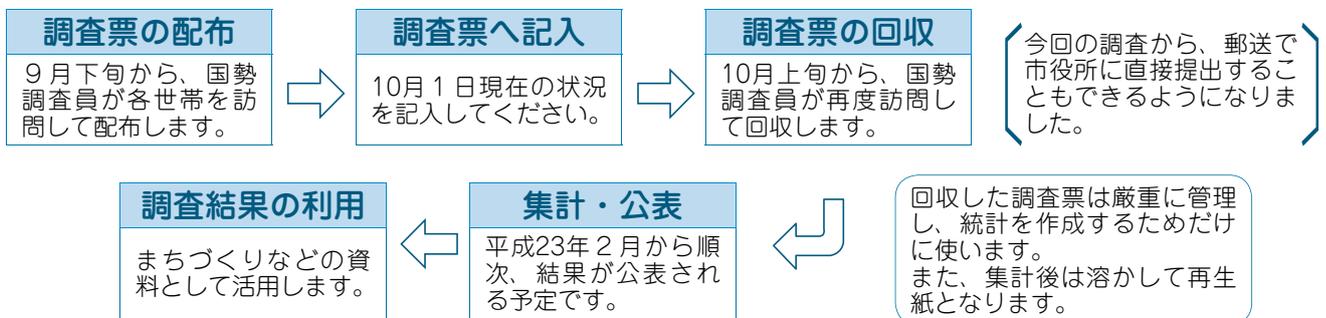
●調査の対象となる人は

国勢調査では、住民票などの届け出に関係なく、平成22年10月1日(金)現在、日本国内に住んでいるすべての人が対象(外国人を含む)です。調査の際には、それぞれの人がふだん住んでいる場所で調査を行います。「ふだん住んでいる場所」とは、その人が3か月以上住んでいるか、住むことになっている場所です。

●どのようなことを調査するの

平成22年国勢調査では、男女の別、出生の年月、就業状態、通勤・通学地、住居の種類、住宅の床面積などの20項目です。

●調査の方法は



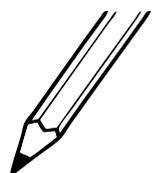
●調査の結果はどのようなことに使われるの

- ・衆議院の選挙区(小選挙区)の画定
- ・地方交付税の算定
- ・行政施策における利用
 - （社会保障政策
 - （高齢社会対策
 - （都市整備計画 など
- ・人口分析や学術研究などにおける利用
 - （将来人口、世帯数の推計
 - （平均寿命の算定 など
- ・一般の会社などにおける利用
 - （生命保険料の算定
 - （店舗などの配置計画 など

●正確な記入をお願いします

みんなが暮らしやすいまちづくりをするために、福祉や医療、住環境などの面でどのような対策が必要かを調査結果から探っていきます。正しく調査が行われないと、政策などが間違った方向に進んでしまいますので、正確な統計をつくることのできるよう、ご協力をお願いします。

調査票への記入は、黒の鉛筆またはシャープペンシルをお願いします。
提出の前に、記入漏れや誤りがないか確認をお願いします。



こんにちは市長です

こんにちは
市長です

No. 2



第2回は、「地球の不思議」「生物の不思議」です。

地球が生まれてから46億年が過ぎていきます。

人類が生まれたのが50万年くらい前ですから、人の年齢と比較しやすいように1億年を1歳（地球年齢ととりあえず呼びます。）とすれば、地球は46歳の働きざかり、人類は生まれて20日くらいの赤ちゃんということになります。

地球が誕生してまもなく、火星くらいの惑星が地球と衝突し月が生まれたといわれています。やがて地球年齢で6歳のころには、地球が冷えて水蒸気が水へと変わり、大雨が地球上に降り注ぎ、海が誕生しました。このころには、現在より1万倍近くの二酸化炭素が大気に含まれ、無酸素の状態でした。

誕生し、酸素の供給を始めた。地球は徐々に冷却されていき、地球年齢で18歳のころ、冷やされたマントルが地球の核まで落下し、地球が強い磁石のようになり、磁場を持つこととなりました。この結果、バンアレン帯ができ、有害な太陽からの電気を帯びた粒子が地球へ到達しなくなりました。

その後の、アンモナイトの時代や恐竜の時代を経て、今の私たちの時代があるわけですね。地球の様々な変化に応じて生命が変化し、共生し、今の生態系を作り上げました。生物の進化も地球の環境に適合するようにして成り立っています。

初期の生物にとって酸素は有害物質でした。今でも、活性酸素は体の大敵です。やがて、酸素がたくさんある中でも生きていけるように生物が進化するわけですが、更にエネルギー源として酸素を使う微生物が誕生しました。これらの酸素を放出する微生物や、酸素を利用する微生物が一つの細胞の中で共生することや、たくさんの細胞が一つの生物としてまとまることにより生物が進化していきま

防ぎ、バンアレン帯と共に生物が安全に上陸する環境を整え、地球年齢で41歳のころ、古生代の生物上陸が始まりました。

大洲のがんばる企業紹介②

本市には、より良い製品づくりを目指して研究・開発に取り組む企業が多く立地しています。これらの企業は、市民の暮らしを支え、市の活性化にも大きく寄与しています。このコーナーでは頑張る市内企業の事業活動や事業展開を紹介していきます。

(株)アイテック

◇所在地
大洲市新谷
◇電話
25-0640



～つねに未来を見つめた製品づくりを目指して～



(株)アイテック・久保社長

アメニティグッズにおける新たな製品開発はもちろんのこと、新しい分野、新しい業界にも、これまでのきめ細やかな提案で培ったアイデアと、蓄積したノウハウを生かして進出しています。

その一つとして、このたび新しい化粧品ブランドを立ち上げました。今後、当社のオリジナルブランド事業として確立したいと考えております。さらに、企画から製造まで全て自社で行える一貫体制を生かしたOEM事業、そして海外企業との提携によるプラスチックチューブ事業など、絶えず未来に向けて、「トータルアメニティ企業」としての新しいステップを踏み出しています。

『ひとつ上の商品、ひとつ上の品質や安心、ひとつ上の環境への取り組み』を目指す新しいアイテックにご期待ください。

今後ともどうぞよろしく
お願い申し上げます。